

中学校区におけるめざす子ども像 「確かな学び」他者の意見を聴き自分の考えを上げたり深めたりすることができる子ども。 「豊かな心」9年間を通して正しい人権意識を持って行動し、自他の良さを認め合うことができる子ども。 「健やかな体」心身の健康をはぐくみ、自他の生命を大切にできる子ども。
--

堺市立さつき野中学校
校長 佐古田 英樹

令和6年度 重点目標 教師としての誇りと豊かな人権感覚を持つ ・わくわくする質の高い授業の創造:子どもと子ども、子どもと教師の協同。1人1台パソコンの活用 ・チームとして取り組む生徒指導体制の確立:いじめ未然防止、早期発見・早期対応。不登校対応 等 ・危機管理意識の向上:「～かもしれない」という感覚

確かな学びの現状 全体的に学習に向かう姿勢は良いが、全国学力テストの質問紙項目「将来の夢や目標はありますか。」の項目においては、過去数年間連続、全国平均を下回っている。このデータをさつき野学園の課題としてとらえ、R5年度は4つの情報活用能力(問いを持つ力・情報を集める力・整理分析する力・まとめ表現する力)を育成する授業づくりで、全教職員が一人一回公開授業を行い、実践を蓄積した。成果としては、教職員は情報活用能力を意識して授業をすることができたことである。一方、課題としては、生徒が情報活用能力が身についたことを自覚できているのかという意見が、反省から出てきた。そこで、R6年度は、「自覚」をキーワードに、授業研究を進めていく。また、昨年度同様、小学校での基礎的学力の育成の取り組みとして、各学年「数と計算」領域の習熟をはかり、年度末には検定テストを実施する。	豊かな心・健やかな体の現状 数年前から行っている食育への取組や、体育行事として小中合同の大運動会、冬の持久走を行っている。大運動会は全学年合同で行い、中学生が中心となり大運動会の準備や運営を行う。体力の向上を目指しながら様々な学年と交流することで、人間関係の広がりやつながりを通して、上級生は下級生を思いやる気持ち、下級生は上級生に憧れを抱くなど、心の育みにもつながっている。 また、小中での交流授業を行い、様々な学年と交流しながら学ぶ機会を設けている。異学年との交流をする中で、多様な価値観に触れることができている。小中一貫校の特徴を活かし、生徒の豊かな心、健やかな体が育まれるよう、活動の工夫をしている。
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	情報活用能力を育成する授業づくりを通して、自分の学びを自覚しながら、主体的に学ぶ児童生徒の育成	4つの情報活用能力を、授業を通して児童生徒に育成する。	教師の肯定的回答80パーセント以上	学校教育アンケート	2 学期末	教職員アンケートで肯定的回答が91%で、前年度の68%を上回った。				
			4 つの情報活用能力がそれぞれ自分に身についたと思うか。	児童生徒の肯定的回答80パーセント以上	学校教育アンケート	2 学期末	生徒アンケートで、肯定的回答が80%以上であり、情報活用能力への意識が高まっているといえる。				
	基礎的学力	小学校 6 年間の「数と計算」領域の知識・技能をもとに、数学科での計算する力を高める	習熟度別に少人数で実施することで、学力に合わせた個別最適化した授業展開を実施する。単元毎に単元テストを行い、自身の理解度を確認し、振り返りシートでどのように改善していくかを自己分析を行う	生徒の肯定的回答 8 0 パーセント以上	学校教育アンケート	2 学期末	生徒アンケートで、肯定的回答が85%以上であり、全学年が前年比を上回った。				
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	小中連携し、9年間を通して人権意識を高め、豊かな感性、思いやりの心を育てる	物事を最後までやりきる成就感、達成感が得られるようにし、自己有用感を高める。	自己有用感にかかわる項目で、肯定評価 平均 9 0 %以上	学校教育アンケート	年度末	学校教育アンケートにおける「うれしめ入りかハを並べている」の項目において、約9割の生徒が並べていると回答しており、自分が困っているときに助けてくれる仲間がいると答えている生徒が多い。				
			学級会活動、異学年交流を充実させ、自他の良さを認め合うことができるようにする。	小中異学年交流に関係する項目で平均 8 0 %以上	学校教育アンケート	年度末	学校教育アンケートにおける「お互いの違いを認め合い、友達と仲良くしている」という項目において、全員が肯定の解答をしており、6年間築いてきた仲間づくりが身を結んでいる。				
			毎学期いじめアンケートを実施し、気になる生徒に教育相談を行い対応する。	「先生は悩みや相談をていねいに聞いてくれる」肯定評価80%以上	学校教育アンケート	年度末	1・2学期でいじめ(生活)アンケートを実施し、気になる生徒から話を聞き、いじめの早期発見に努めている。				
	体力向上	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる	体育の授業に加え、学校全体の取組である体育行事などを通して、運動への意欲を高める。	「運動」にかかわる項目で、肯定評価 9 0 %以上	学校教育アンケート	年度末	運動量を確保した授業づくりや持久走を全学年で実施する。				
			食育を充実させ、生徒が自らの健康について考える力を育成する	「食」にかかわる項目で肯定評価 9 0 %以上	学校教育アンケート	年度末	食育委員からの動画を各教室で視聴し、言葉がけを行っている。家庭科の授業で、バランスよく食べることの重要性を指導している。				
	地域協働	信頼される学校 学校行事や日々の学級の様子について、情報を発信する。	●学園便り、学年便り、学級通信、学校ホームページを活用し、子どもの様子や学校情報を積極的に発信する。	「学園便り、学年便り、学級通信、学校ホームページは学園の様子がよくわかる」肯定評価80%以上	学校教育アンケート	年度末	「学園便り、学年便り、学級通信、学校ホームページは学園の様子がよくわかる」肯定評価96%、引き続き通信などは見やすく情報を整理したものを発行していく。HPも子どもたちの様子を積極的にアップしていく。				

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------